

毒物及び劇物に関する法規

問1 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第1条

この法律は、毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な（ a ）を行うことを目的とする。

第2条第2項

この法律で「劇物」とは、別表第二に掲げる物であつて、（ b ）以外のものをいう。

番号	a	b
1	管理	医薬品及び医薬部外品
2	管理	医薬品及び化粧品
3	取締	医薬品及び医薬部外品
4	取締	医薬品及び化粧品

問2 次のうち、法第3条の2の規定に基づく、特定毒物の品目と施行令で定める用途として、正しいものの組み合わせはどれか。

番号	特定毒物の品目	用途
1	四アルキル鉛を含有する製剤	ガソリンへの混入
2	モノフルオール酢酸の塩類を含有する製剤	かんきつ類、りんご、なし、桃又はかきの害虫の防除
3	モノフルオール酢酸アミドを含有する製剤	野ねずみの駆除
4	ジメチルエチルメルカプトエチルチオホスフエイトを含有する製剤	くん蒸によるねずみ、昆虫等の駆除

問3 次のうち、法第3条の2第9項の規定に基づく、四アルキル鉛を含有する製剤の着色の基準として、施行令で定めるものに該当しないものはどれか。

- 1 赤色
- 2 黒色
- 3 青色
- 4 緑色

問4 以下の記述は、法の条文の一部である。()の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第3条の3

興奮、幻覚又は(a)の作用を有する毒物又は劇物(これらを含有する物を含む。)であつて政令で定めるものは、みだりに摂取し、若しくは吸入し、又はこれらの目的で(b)してはならない。

番号	a	b
1	鎮静	授与
2	麻酔	授与
3	鎮静	所持
4	麻酔	所持

問5 次のうち、法第3条の4の規定に基づく、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であつて施行令で定めるものとして、正しいものはどれか。

- 1 ナトリウム
- 2 メタノール
- 3 ニトロベンゼン
- 4 アリルアルコール

問6 次の記述は、毒物劇物営業者の登録等に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毒物劇物製造業者が、自ら製造した毒物又は劇物を、他の毒物劇物販売業者に販売するときは、毒物劇物販売業の登録を受けることなく、毒物又は劇物を販売することができる。
- b 毒物劇物製造業の登録は、厚生労働大臣が行う。
- c 毒物劇物輸入業の登録は、6年ごとに更新を受けなければ、その効力を失う。
- d 毒物劇物営業者は、登録票の再交付を受けた後、失った登録票を発見した場合には、これを返納しなければならない。

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問7 次のうち、法第7条及び第8条の規定に基づく毒物劇物取扱責任者に関する記述として、正しいものはどれか。

- 1 毒物劇物営業者が、毒物劇物輸入業と毒物劇物販売業を併せて営む場合において、その営業所と店舗が互いに隣接している場合でも、それぞれに専任の毒物劇物取扱責任者を置かなければならない。
- 2 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者を変更したときは、30日以内に届け出なければならない。
- 3 薬剤師は、毒物又は劇物の一般販売業の店舗において毒物劇物取扱責任者になることができない。
- 4 特定品目毒物劇物取扱者試験に合格した者は、特定品目のみを取り扱う毒物劇物製造業の製造所において毒物劇物取扱責任者になることができる。

問8 以下の記述は、法の条文の一部である。()の中に入る字句として、正しいものはどれか。

第9条第1項

毒物又は劇物の製造業者又は輸入業者は、登録を受けた毒物又は劇物以外の毒物又は劇物を製造し、又は輸入しようとするときは、()、第六条第二号に掲げる事項につき登録の変更を受けなければならない。

- 1 あらかじめ
- 2 すみやかに
- 3 十五日以内に
- 4 三十日以内に

参考：法第6条第2号

製造業又は輸入業の登録にあつては、製造し、又は輸入しようとする毒物又は劇物の品目

問9 次のうち、法第10条第1項の規定に基づき、毒物劇物販売業者が30日以内に届け出なければならない場合として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毒物劇物販売業者が法人であつて、その主たる事務所の所在地を変更したとき
- b 営業時間を変更したとき
- c 販売する毒物又は劇物の品目を変更したとき
- d 営業を廃止したとき

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問10 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第11条第3項

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その製造所、営業所若しくは店舗又は研究所の外において毒物若しくは劇物又は前項の政令で定める物を（ a ）する場合には、これらの物が飛散し、漏れ、流れ出、又はしみ出ることを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

第11条第4項

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は厚生労働省令で定める劇物については、その容器として、（ b ）の容器として通常使用される物を使用してはならない。

番号	a	b
1	保管	医療用
2	保管	飲食物
3	運搬	医療用
4	運搬	飲食物

問11 次のうち、法第12条第1項の規定に基づく毒物の容器及び被包における表示の方法として、正しいものはどれか。

- 1 「医薬用外」の文字及び赤地に白色で「毒物」の文字を表示
- 2 「医薬用外」の文字及び黒地に白色で「毒物」の文字を表示
- 3 「医薬用外」の文字及び白地に黒色で「毒物」の文字を表示
- 4 「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「毒物」の文字を表示

問12 次のうち、規則第11条の6第2号の規定に基づき、毒物劇物製造業者が、その製造した塩化水素を含有する製剤たる劇物（住宅用の洗浄剤で液体状のものに限る。）を販売するとき、その劇物の容器及び被包に表示しなければならない事項として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗うべき旨
- b 小児の手の届かないところに保管しなければならない旨
- c 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けるべき旨
- d 居間等人が常時居住する室内では使用してはならない旨

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問13 次のうち、法第13条の規定に基づき、「あせにくい黒色」で着色したものでなければ、毒物劇物営業業者が農業用として販売し、又は授与してはならないものとして、正しいものの組み合わせはどれか。

- a チオセミカルバジドを含有する製剤たる劇物
- b 磷化亜鉛^{りん}を含有する製剤たる劇物
- c ロテノン^{りん}を含有する製剤たる劇物
- d 硫酸タリウムを含有する製剤たる劇物

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問14 次のうち、法第14条第1項の規定に基づき、毒物劇物営業業者が、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業業者に販売したとき、その都度、書面に記載しておかなければならない事項として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 販売の年月日
- b 使用目的
- c 毒物又は劇物の製造番号
- d 譲受人の職業

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問15 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第15条第1項

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を次に掲げる者に交付してはならない。

- 一 （ a ） 歳未満の者
- 二 （ b ） の障害により毒物又は劇物による保健衛生上の危害の防止の措置を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 三 麻薬、大麻、（ c ） 又は覚せい剤の中毒者

番号	a	b	c
1	十八	心身	あへん
2	十八	身体	シンナー
3	二十	身体	あへん
4	二十	心身	シンナー

問16 以下の記述は、施行令の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第40条

法第十五条の二の規定により、毒物若しくは劇物又は法第十一条第二項に規定する政令で定める物の廃棄の方法に関する技術上の基準を次のように定める。

- 一 中和、（ a ）、酸化、還元、（ b ）その他の方法により、毒物及び劇物並びに法第十一条第二項に規定する政令で定める物のいずれにも該当しない物とすること。

番号	a	b
1	加水分解	脱水
2	加水分解	稀釈
3	溶解	脱水
4	溶解	稀釈

問17 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものはどれか。

第17条第2項

毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は紛失したときは、直ちに、その旨を（ ）に届け出なければならない。

- 1 保健所
- 2 警察署
- 3 消防機関
- 4 保健所、警察署又は消防機関

問18 以下の記述は、法の条文の一部である。（ ）の中に入る字句として、正しいものの組み合わせはどれか。

第18条第1項

都道府県知事は、（ a ）必要があると認めるときは、毒物劇物営業者若しくは特定毒物研究者から必要な報告を徴し、又は薬事監視員のうちからあらかじめ指定する者に、これらの者の製造所、営業所、店舗、研究所その他業務上毒物若しくは劇物を取り扱う場所に立ち入り、帳簿その他の物件を検査させ、関係者に質問させ、若しくは試験のため必要な最小限度の分量に限り、毒物、劇物、第十一条第二項の政令で定める物若しくはその疑いのある物を（ b ）させることができる。

番号	a	b
1	犯罪捜査上	回収
2	犯罪捜査上	収去
3	保健衛生上	回収
4	保健衛生上	収去

問19 次のうち、法第22条第1項の規定に基づく業務上取扱者の届出が必要な事業であって、施行令で定めるものとして、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 無水クロム酸を使用して、金属熱処理を行う事業
- b 砒^ひ素化合物たる毒物を使用して、しろありの防除を行う事業
- c 無機シアン化合物たる毒物を使用して、電気めっきを行う事業
- d 燐^{りん}化アルミニウムを使用して、倉庫内におけるねずみ、昆虫等の駆除を行う事業

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

問20 次のうち、施行令第40条の9及び規則第13条の12の規定に基づき、毒物劇物営業者が、毒物又は劇物を販売する時までに、譲受人に対し、提供しなければならない情報として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 毒物又は劇物の別
- b 盗難又は紛失時の措置
- c 使用期限
- d 輸送上の注意

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

基礎化学

問21 次のうち、混合物として、最も適当なものはどれか。

- 1 水
- 2 塩化ナトリウム
- 3 ドライアイス
- 4 空気

問22 次のうち、赤の炎色反応を示す元素として、最も適当なものはどれか。

- 1 リチウム
- 2 ナトリウム
- 3 バリウム
- 4 銅

問23 次のうち、物質の状態変化に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 固体から気体への変化を昇華という。
- 2 固体から液体への変化を融解という。
- 3 液体から気体への変化を蒸発という。
- 4 液体から固体への変化を凝縮という。

問24 次のうち、原子とその構造に関する記述として、正しいものはどれか。

- 1 原子核は、陽子と中性子と電子からできている。
- 2 原子番号は、原子核中の中性子の数である。
- 3 原子核中に含まれる陽子の数と中性子の数の和をその原子の質量数という。
- 4 陽子と電子の質量は、ほぼ同じである。

問25 次のうち、気体とその捕集方法の組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

番号	気体	捕集方法
1	アンモニア	下方置換
2	一酸化炭素	水上置換
3	二酸化窒素	水上置換
4	塩化水素	上方置換

問26 次のうち、ハロゲンに属する元素はどれか。

- 1 A r
- 2 B r
- 3 C r
- 4 S r

問27 次のうち、標準状態（0℃、1気圧）において、窒素1molと酸素1molからなる混合気体が占める体積として、最も適当なものはどれか。

- 1 11.2 L
- 2 22.4 L
- 3 33.6 L
- 4 44.8 L

問28 次のうち、正塩として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a CH_3COONa
- b $\text{MgCl}(\text{OH})$
- c NaHSO_4
- d NH_4Cl

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問29 次のうち、メタノールを酸化したときの生成物として、最も適当なものはどれか。

- 1 ギ酸
- 2 酢酸
- 3 プロピオン酸
- 4 アセトン

問30 次のうち、分子の形が直線形であるものとして、正しいものはどれか。

- 1 水
- 2 メタン
- 3 アンモニア
- 4 二酸化炭素

問31 次のうち、0.5 mol/L 酢酸水溶液のpHとして、最も適当なものはどれか。
ただし、温度は25℃、酢酸の電離度は0.02とする。

- 1 pH 2
- 2 pH 3
- 3 pH 4
- 4 pH 5

問32 次の可逆反応が平衡状態になっているとき、ルシャトリエの原理による平衡移動において右に移動させる操作の正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。



- a アンモニアを加える
- b 窒素を加える
- c 圧力を上げる
- d 温度を上げる

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問33 次のうち、 0.5 mol/L の水酸化カリウム水溶液 20 mL を中和するのに必要な 0.1 mol/L の硫酸の量として、最も適当なものはどれか。

- 1 10 mL
- 2 25 mL
- 3 50 mL
- 4 100 mL

問34 次のうち、二次電池として、正しいものはどれか。

- 1 リチウム電池
- 2 リチウムイオン電池
- 3 マンガン乾電池
- 4 アルカリマンガン乾電池

問35 次のうち、分子結晶に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 多数の分子が分子間力で引き合い、規則正しく配列した結晶である。
- 2 ヨウ素は分子結晶である。
- 3 一般的にイオン結晶と比較して融点が高い。
- 4 昇華性を持つものが多い。

問36 次のうち、密度が 1.1 g/cm^3 である $8.0\text{ (w/w) \%}$ の水酸化ナトリウム水溶液のモル濃度として、最も適当なものはどれか。ただし、原子量は $\text{H}=1.0$ 、 $\text{O}=16$ 、 $\text{Na}=23$ とする。

- 1 1.8 mol/L
- 2 2.0 mol/L
- 3 2.2 mol/L
- 4 2.8 mol/L

問37 次のうち、酸化還元反応に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 一般に酸化と還元は同時に起こり、それぞれの反応が単独で起こることはない。
- 2 物質が酸素を受け取る変化は、酸化反応である。
- 3 還元剤は、反応相手の物質の酸化数を増加させる物質である。
- 4 二酸化硫黄は、反応相手の物質により酸化剤としても還元剤としてもはたらく。

問38 次のうち、分子式 C_3H_8O で表される物質の構造異性体の数として、正しいものはどれか。

- 1 2種類
- 2 3種類
- 3 4種類
- 4 5種類

問39 次のうち、フェノール類に分類される有機化合物として、正しいものの組み合わせはどれか。

- a サリチル酸
- b アニリン
- c ピクリン酸
- d アセチルサリチル酸

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

問40 次のうち、タンパク質の検出に利用される反応として、最も適当なものはどれか。

- 1 ニンヒドリン反応
- 2 銀鏡反応
- 3 ヨードホルム反応
- 4 ヨウ素デンプン反応

毒物及び劇物の性質及びその他貯蔵方法

問41 次の物質を含有する製剤について、劇物の指定から除外される上限の濃度として、正しい組み合わせはどれか。

番号	物質	濃度
1	過酸化水素	5 %
2	硫酸	6 %
3	硝酸	10 %
4	ホルムアルデヒド	10 %

問42 次のうち、トルエンに関する記述の正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

- a 不燃性の液体で、ベンゼン様の臭気を有する。
- b 水に可溶であり、エタノールやエーテルに不溶である。
- c 蒸気の吸入により、頭痛、食欲不振などを呈し、大量に吸入した場合は、緩和大赤血球性貧血をきたす。
- d 麻酔性が強い。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問43 次のうち、ホルマリンに関する記述の正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

- a 橙黄色^{とう}の無臭の液体である。
- b 低温では混濁することがあるので、常温で保存する。
- c 空気中の酸素によって一部酸化され、酢酸を生じる。
- d 水、アルコールによく混和する。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問44 以下の性状を示す物質として、最も適当なものはどれか。

無色、揮発性、芳香を有する液体で、比重が1より大きく、不燃性である。

- 1 四塩化炭素
- 2 メタノール
- 3 メチルエチルケトン
- 4 キシレン

問45 以下の性状を示す物質として、最も適当なものはどれか。

潮解性のある黄色結晶である。

- 1 クロム酸ナトリウム
- 2 水酸化ナトリウム
- 3 修酸^{しゅう}
- 4 硅弗化ナトリウム^{けいふつ}

問46～47

次の劇物を1回につき5,000キログラム以上運搬する車両に備える保護具として、施行令第40条の5第2項第3号に規定する厚生労働省令で定めるものはどれか。

問46 塩化水素及びこれを含有する製剤（塩化水素10%以下を含有するものを除く。）で液体状のもの

問47 水酸化カリウム及びこれを含有する製剤（水酸化カリウム5%以下を含有するものを除く。）で液体状のもの

- 1 保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、酸性ガス用防毒マスク
- 2 保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、普通ガス用防毒マスク
- 3 保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、有機ガス用防毒マスク
- 4 保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、保護眼鏡

問48 次のうち、水酸化ナトリウムの性質及び貯蔵方法に関する記述として、最も適当なものはどれか。

- 1 水溶液は、息が詰まるような強い刺激臭があり、揮発しやすいため、よく密栓して貯蔵する。
- 2 二酸化炭素と水を吸収する性質が強いため、密栓して貯蔵する。
- 3 亜鉛又は錫^{すず}メッキをした鋼鉄製容器を用い、高温に接しない場所に貯蔵する。
- 4 引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性の混合気体となるため、火気を避けて貯蔵する。

問49 以下の記述は、過酸化水素水に関するものである。()の中に入る字句の組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

(a)の液体であり、常温において徐々に分解し、(b)と水を生じる。

番号	a	b
1	赤褐色	二酸化炭素
2	赤褐色	酸素
3	無色透明	二酸化炭素
4	無色透明	酸素

問50 次のうち、クロロホルムに関する記述の正しい組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

- a 水によく溶ける。
- b 無色、不燃性の液体である。
- c 皮膚からは吸収されないが、吸入した場合は、強い麻酔作用が現れることがある。
- d 火災などで強熱されるとホスゲンを生成するおそれがある。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

毒物及び劇物の識別及び取扱方法

問51 次のうち、酢酸エチルの性状及び漏えい時の措置として、誤っているものはどれか。なお、措置は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づくものとする。

- 1 果実様の芳香を有する。
- 2 蒸気は空気より軽い。
- 3 引火性があるため、漏えい時は付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- 4 漏えい時の作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。

問52 次のうち、一酸化鉛の識別方法として、最も適当なものはどれか。

- 1 希硝酸に溶かすと、無色の液体となり、これに硫化水素を通すと、黒色の沈殿を生成する。
- 2 ヨード亜鉛からヨードを析出する。
- 3 塩酸を加えて中和した後、塩化白金溶液を加えると、黄色、結晶性の沈殿を生じる。
- 4 アルコール性の水酸化カリウムと銅粉とともに煮沸すると、黄赤色の沈殿を生じる。

問53 次のうち、水酸化カリウムの識別方法として、最も適当なものはどれか。

- 1 フェーリング溶液とともに熱すると、赤色の沈殿を生成する。
- 2 過マンガン酸カリウムを還元し、クロム酸塩を過クロム酸塩に変える。
- 3 水溶液を白金線につけて無色の火炎中に入れると、火炎は著しく黄色に染まり、長時間続く。
- 4 水溶液に酒石酸溶液を過剰に加えると、白色結晶性の沈殿を生じる。

問54～問55

次の物質の漏えい時の措置として、最も適当なものはどれか。なお、措置は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づくものとする。

問54 重クロム酸カリウム

問55 アンモニア水

- 1 少量の場合、付近の着火源となるものを速やかに取り除いたうえで、土砂等に吸着させて空容器に回収する。
- 2 少量の場合、漏えい箇所を濡れむしろ等で覆い、遠くから多量の水をかけて洗い流す。
- 3 少量の場合、漏えい箇所や漏えいした液には消石灰を十分に散布して吸収させる。
- 4 飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを還元剤（硫酸第一鉄等）の水溶液を散布し、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理したのち、多量の水を用いて洗い流す。

問56 以下の3つの方法で識別される物質として、最も適当なものはどれか。

- ・アルコール溶液に、水酸化カリウム溶液と少量のアニリンを加えて熱すると、不快な刺激性の臭気を放つ。
- ・レゾルシンと33%の水酸化カリウム溶液と熱すると黄赤色を呈し、緑色の蛍石彩を放つ。
- ・ベタナフトールと高濃度水酸化カリウム溶液と熱すると藍色を呈し、空気に触れて緑より褐色に変じ、酸を加えると赤色の沈殿を生じる。

- 1 塩酸
- 2 水酸化ナトリウム
- 3 四塩化炭素
- 4 クロロホルム

問57～問58

次の物質の廃棄方法として、最も適当なものはどれか。なお、廃棄方法は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づくものとする。

問57 ^{けいふつ} 硅弗化ナトリウム

問58 一酸化鉛

- 1 ^{けい} 硅そう土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- 2 徐々にソーダ灰又は消石灰の^{かくはん} 攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
- 3 セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。
- 4 水に溶かし、消石灰等の水溶液を加えて処理した後、希硫酸を加えて中和し、沈殿ろ過して埋立処分する。

問59 次のうち、メチルエチルケトンの廃棄方法として、最も適当なものはどれか。なお、廃棄方法は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づくものとする。

- 1 酸化法
- 2 アルカリ法
- 3 燃焼法
- 4 分解沈殿法

問60 次のうち、硫酸の漏えい時の措置として、最も適当なものはどれか。なお、措置は厚生労働省で定める「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づくものとする。

- 1 多量に漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、これに吸着させるか、又は安全な場所に導いて、遠くから徐々に注水してある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。
- 2 多量に漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。
- 3 多量に漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、多量の水で十分に希釈して洗い流す。
- 4 漏えいした液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。洗い流す場合には中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。